

Jアラート発信時の対応について

弾道ミサイルが発射され、万が一、東京都内への影響が予想される場合には、国から、ミサイル発射情報や屋内避難の呼びかけ等の緊急情報がJアラート（全国瞬時警報システム）により伝達され、その情報が携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールや区の防災行政無線屋外スピーカーを通じて伝達されますので、落ち着いて直ちに以下の行動をとってください。また、これらの緊急情報にあわせて、テレビ、ラジオの報道情報等にも注意してください。

記

1. 屋外にいる場合
 - ・ 近くの建物（できれば頑丈な建物）の中、または地下に避難する。
 - ・ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
（ミサイルが着弾した場合）
 - ・ 口と鼻をハンカチで覆いながら現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
2. 屋内にいる場合
 - ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。
（ミサイルが着弾した場合）
 - ・ 換気扇、エアコンを止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
3. 授業中の場合
 - ・ 教室にとどまり、窓がある場合は窓から離れる。屋外にいる場合は授業を中断し、建物の中に避難する。
 - ・ 校内放送等により大学から指示がある場合には、それに従うこと。

<その他>

- ・ 授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、学内メールまたは安否確認システムによりお知らせします。
- ・ 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に国民がとるべき行動については、内閣官房国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/>) に掲載されていますので、参考にしてください。また、内容については随時、更新されていますので各自で確認してください。

<関連情報>

- ・ 弾道ミサイル落下時の行動について
(<http://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/index.html>)
- ・ 弾道ミサイル落下時の行動に関する Q&A
(<http://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/index.html>)
- ・ 緊急速報メールを受信できるかの確認方法と受信できない場合の対策（総務省消防庁）
(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/05/290511_houdou_1-1.pdf)